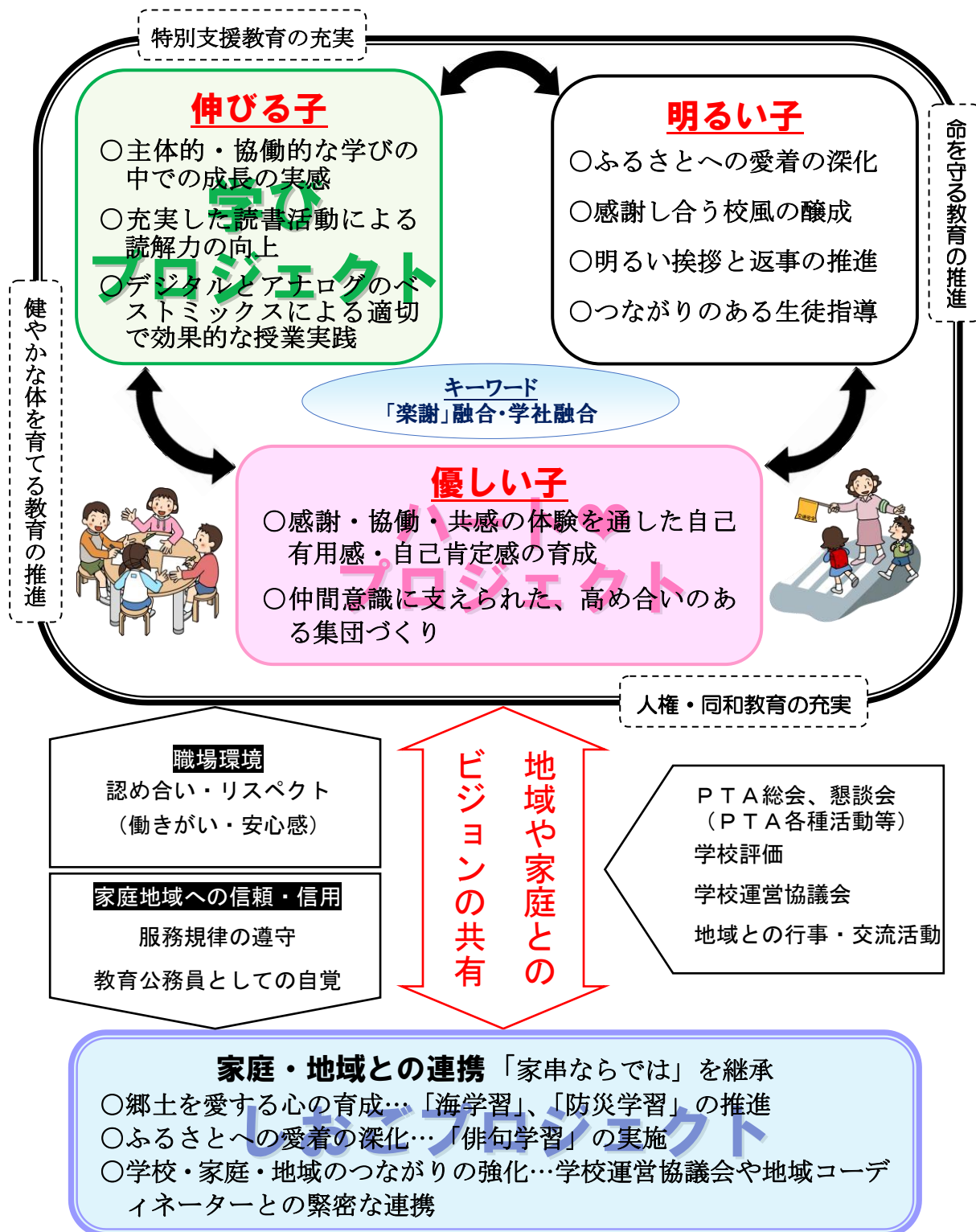


令和8年度 教育計画						学校番号 074	
愛南町立家串小学校							
校長名	吉村 智生	学級数	4 (1)	児童数	21	教職員数	7



学校教育目標

自らの成長を喜び、ふるさとに想いを馳せる家串の子の育成



重点目標	1 豊かな心を育てる教育の推進 (1) 地域での探究・体験学習を通して環境教育を充実させ、ふるさとへの愛着を育む。 (2) 感謝の言葉を中心に、挨拶・返事を家庭や地域とともに推奨し、感謝し合う校風を醸成する。 2 生徒指導の徹底と健全育成 (1) 児童理解を深め、家庭や地域とともに支える人間関係を軸とした生徒指導を充実させる。 (2) 継続した支援を実現するため、幼稚園等や中学校、関係機関と連携・協働し、課題の解決に計画的・積極的に取り組む。 3 確かな学力を育てる教育の推進 (1) 仲間との協働的で主体的な学びの中で、自分の成長を実感し満足することができる教育活動を実践する。 (2) 読み聞かせ活動や読書通帳（みきゅん通帳）の活用等を中心に読書活動を推進し、読書の楽しさを実感させ、読解力の向上を目指す。 (3) デジタルとアナログのバランスが、児童の実態やクラス的环境に適した効果的な授業実践を推進する。 4 人権・同和教育の充実 (1) 感謝・協働・共感を教育活動の根底に据え、人権・同和教育を推進し、自己有用感・自己肯定感を育てる。 (2) 仲間意識に支えられた集団づくりを通して、協働の中で困難を乗り越え、自立して生きていくために必要な力を養う。 5 特別支援教育の充実 (1) 特別支援教育に関する研修の機会を充実させ、全ての教職員が障がいについての知識と理解を深め、一人ひとりに寄り添った支援ができるよう努める。 (2) 教職員が児童一人ひとりの特性を深く理解し、学校全体でその良さや努力を認め、支え合える体制を築く。 6 健やかな体を育てる教育の推進 (1) 体育科の授業や放課後の体育的活動の充実、えひめ子どもスポーツ I T スタジアム等の活用を推進し、体力の向上や運動の習慣化・生活化を図る。 7 命を守る教育の推進 (1) 生活、交通、災害の各領域において、安全に関する基礎的・基本的な知識を習得させるとともに、自らの安全を確保する主体的な態度を育成する。 (2) 各種避難訓練（地震・津波、火災、不審者等）を通じて、防災意識を高め、危機に際して、自ら思考・判断し、自らの命を守り抜く資質・能力を養う。
管理運営	1 人的管理 (1) 全教職員が服務規律を遵守し、教育公務員としての自覚と責任を持って行動し、家庭・地域からの信用の保持に努め、信頼関係を築く。 (2) 教職員が互いの専門性や個性を認め合い、働きがいと安心感を持って学校教育目標の具現化に邁進できる職場風土を醸成する。 (3) 教職員の心身の健康を学校運営の基盤とし、不調の際には速やかに受診や静養ができる体制を整備する。 2 物的管理 (1) 整備計画に基づき、将来を見据えた施設・設備の充実を図るとともに、その効果的な活用を促進し、適切な維持管理を行う。 (2) 地域社会と連携・協働し、防災対策における中心的な役割を担うとともに、組織全体の危機管理能力を高める。 3 事務管理 (1) 御荘共同学校事務室と連携・協働し、適切で迅速な事務処理に努める。 (2) 情報セキュリティポリシーを遵守し、個人情報等の適切な保管・管理、著作権に配慮した著作物の取り扱いを確実に行う。 (3) 校務支援システムや I C T を活用し、事務処理の効率化を図る。
本校教育の特色	○ 「海学習（環境教育）」と「防災学習（教育）」の繋がりを意識し、地域と連携した活動を通して、地域と一体となった学校づくりを進め、郷土を愛する児童の育成を目指す。 ○ 地域人材を活用した体験・伝承活動に積極的に取り組む。特に、俳句等の「家串ならではの」の学びを進化させ、児童がふるさとのすばらしさを理解し、深い愛着を持てる教育を進める。 ○ 学校運営協議会や地域コーディネーターと連携し、児童の見守り、図書館整備、行事準備等の支援を仰ぐことで、教職員が児童一人ひとりと向き合う時間を確保し、教育の質の向上を図る。